

とね
鎌倉街道



私は利根町に移住して来たばかりですので、利根町のどこに何があるのか、利根町は一体どのような所なのか、わからないことだらけです。町内を散策してみなければ何もわからない！ということを実感したのが今回ご紹介する「鎌倉街道」でした。

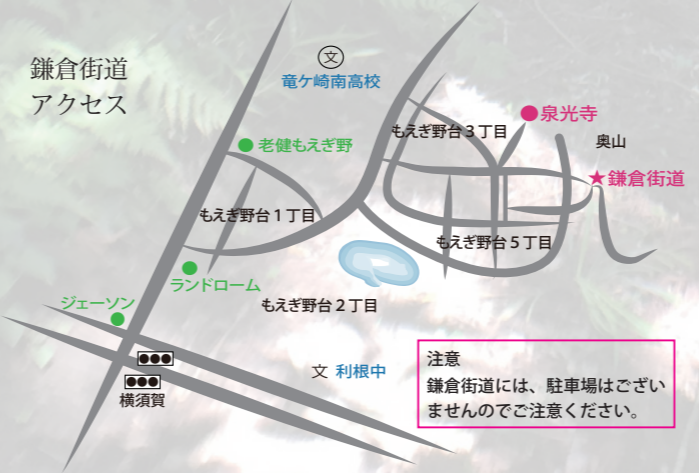


鎌倉街道は泉光寺から歩いて3分ほどの所にあります。入口の鳥居から雰囲気は素晴らしく、通りがかったら誰もが思わず足を踏み入れてしまうのではないのでしょうか。周りは竹に囲まれ、綺麗に手入れされた山道を歩いていると「ギンギン」と音が聞こえてきます。その音は竹が風で揺れることで発生する音で、人工物だらけの都会では決して聞くことの出来ない音だと思います。他にも土色のカエルがいたり、いろいろな種類のキノコ（食べないでくださいね）が生えていたり、道端にぼつんと一輪だけ咲いている花など、自然を感じられるさまざまな発見がありました。



1. 2. 3. 鳥居をくぐり一歩足を踏み入れると、そこには神秘的な空間が広がっていて、かつてこの道を往来した者たちの息づかいが聞こえてくるような気がします。4. 5. 鎌倉街道を中ほどまで進むと、石碑を目印に二股に枝分かれした小道が現れ、その奥には王子神社の鳥居と社殿がひっそりとたたずんでいました。6. 里山には至る所に歴史を感じさせる巨木がそびえています。7. 8. すぐ隣には落ち着いた雰囲気の泉光寺もあります。

深い緑につつまれた里山で、鎌倉時代にタイムスリップ



中世のみち
かつて鎌倉幕府が置かれた鎌倉から諸国へ通じる重要な幹線道路だった鎌倉街道が、ここ利根町奥山周辺の里山の中に今なお残されています。諸国へ年貢やさまざまな物資を輸送するために利用されたその道は、人や文化を繋いだ先人たちの夢の跡。今も残る鎌倉街道の名残は、足を踏み入れたわたしたちの歴史ロマンをかきたててくれます。今回のシリーズ「まぢひとしごと」は、本年9月から「利根町地域おこし協力隊」として任命された、峯山典明隊員が、初めて訪れた利根町指定史跡の鎌倉街道をご紹介します。

鎌倉街道は、貴重な町の指定史跡です。この自然を後世に残すため、日ごろよりボランティアの皆さまの手によって整備・保全活動が行なわれています。散策の際は、美化運動にご協力をお願いいたします。

プロフィール
峯山 典明 (みねやまのりあき)
昭和52年8月11日生 (40歳) 東京都小金井市出身
東京を中心にサッカー・フットサルの指導者として10年以上活動し、近年は高知県・広島県で指導に当たる。
以前より日本ウェルネススポーツ大学利根キャンパスのフットサル部の監督として指導を行っており、利根町とは繋がりがあったことから、今回、その愛着ある利根町で地域おこし協力隊の隊員を募集していることを知り、手を挙げた。
9月1日、利根町地域おこし協力隊第1号の隊員として正式に任命を受ける。主な任務は、フィルムコミッション業務と空き家・空き地バンク業務。
趣味・特技はサッカー、フットサル、ポルトガル語、バスの運転、ブログ、電子書籍の執筆など

利根町地域おこし協力隊 峯山典明隊員

先を進むと「道祖神」「庚申塔」、そして「王子神社」がありました。王子神社で参拝することを目的に歩いてみても良いかも知れません。また、ここ鎌倉街道以外ではめったにお目にかかれないであろう、珍しい形をした木の枝（表紙の写真）や、歴史を感じさせる巨木なども随所で見られました。晴れている日は、木漏れ日が光り輝きその風景は言葉では表すことが出来ないほど心地の良いものでした。身近過ぎて気付かれることのない場所かもしれません。しかし私は、鎌倉街道は利根町にとって自慢出来るセラピーロードだと思います。これからのような隠れた名所を探し出し、利根町の魅力をお伝えしていきたいと思っています。

この特集ページに関するお問い合わせは、役場 企画課 シティプロモーション係 (68-2211) まで